

「縄文歴史ツアー・縄文土器作り」



感想一覧

- ・楽しかったけど、隙間を指で無くすのが難しかった。(1年生)
- ・土器を作れて、楽しかったし面白かった。(3年生)
- ・土器作りが楽しかった。土器作りだけど、小物も作れて楽しかった(4年生)
- ・粘土で土器作りが楽しかったです。鶴居でそんなにすごい物が発掘されていると知って、びっくりしました。(4年生)

編集後記

縄文時代の歴史、当時の人々の生活や暮らしぶりを学習しました。
展示ホールの展示品見学、縄文土器作りも体験しました。

令和4年度の第6回目の活動は、12名の方に参加いただきました。今回の講座は、生涯学習講座との共催事業のため、子どもから大人にかけて幅広い年齢層の方と交流を図り、交流や親睦を深めました。

また、標茶町博物館 学芸員 坪岡 始様に講師としてご参加いただき、縄文時代の歴史、当時の人たちの生活や暮らしぶりなど資料を基に説明がありました。初めて学ぶ人でもわかりやすく丁寧な説明で、頷きながら聞きリラックスしながら学んでいました。

説明後は、展示ホールへ移動し、下幌呂の遺跡から発掘された石器や土器を見学しました。大きさや形も様々で、実物の発掘品を手に持って触って、感触、質感などを確かめました。

最後には、土器用の粘土を使用して、作り方を聞きながら縄文土器作りを行いました。粘土の塊(700g)から、少しずつ粘土を取りながら土器の形をイメージして作りました。花瓶入れのような小さいものからお菓子籠のような大きいものまで、作る人の個性・性格が作品に表れていました。土器は、4~5日程度乾燥させ、焼き上げを行い完成となります。届き次第、皆さんにお知らせしますので、自分の作品が完成するのを楽しみに待っていてくださいね!

(編集者 吉田 綾稀)



活動の様子



